

エコライフみしま

未来へつなぐ 環境先進都市・三島
みんなで作って



第28号
2016/10/15

知っていますか？

市の鳥「カワセミ」市の木「イチヨウ」市の花「三島桜」



- 特集「環境と財布に優しいエコドライブ」・・・P2、P3
- 環境活動紹介(錦田地区エコリーダーの環境活動)・・・P4

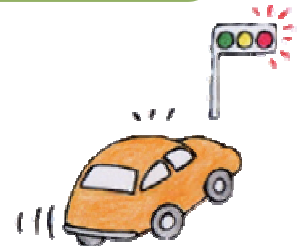
環境と財布に優しいエコドライブ



ふんわりアクセル
「eスタート」

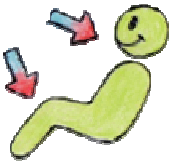


車間距離にゆとりをもって、
加速・減速の少ない運転



減速時は早めに
アクセルを離そう

エコドライブ10のすすめ



エアコンの
使用は適切に



ムダなアイドリングは
やめよう



渋滞を避け、
余裕をもって出発しよう



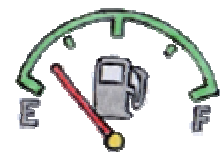
タイヤの空気圧から
始める点検・整備



不要な荷物
はおろそう



走行の妨げとなる駐車はやめよう



自分の燃費を把握しよう

クイズ：自転車の酒酔い運転は違反となるでしょうか？

～答えはP3へ～

11月はエコドライブ推進月間ということをご存知ですか？これからの行楽シーズン、自動車に乗る機会が多くなる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

エコライフみしま第28号では、環境と財布に優しいエコドライブについて特集しました。自動車の運転方法や移動手段について改めて考えるきっかけになったら嬉しいです。



エコドライブってなに？

エコドライブとは、省エネ運転のことであり、エネルギー消費の少ない運転です。

実は、2つの意味があります。

- ・エコロジカル ドライブ＝環境に優しい運転
- ・エコノミカル ドライブ＝財布に優しい運転

車から排出されるCO₂排出量を減らすように運転することが燃費の向上につながり、ガソリン代の節約にもなります。

エコドライブ&安全運転講習会

事故防止に繋がるエコドライブを学んでみませんか？

日時：平成28年11月15日（火）13：30～15：00

会場：三島市民生涯学習センター

定員：50名程度 参加費：無料

講師：JAF職員

※参加を希望される方は11月11日（金）までに三島市環境政策課（983-2647）へご連絡ください。

燃費39%改善！

6月19日（日）に、東部運転免許センターでJAF静岡支部主催によるエコドライブ実技講習会が行われました。15名の方が参加し、燃費計を取り付けた自動車を運転し、講習受講前の普段の運転の数値と受講後の運転の数値を比べました。

結果は、平均で約39%燃費が改善され、CO₂排出量も約39%減少しました。

受講者の方からは「発進時のアクセルの踏込が大きすぎるという自覚はあったが、改めて数値化されてより自覚できた。エコ運転を今後心掛けたい。」といった声がありました。

（※コース内を走行した場合の比較のため、実際に道路を走行した場合の結果とは異なります。）

エコドライバーの声

エコドライブという言葉を目にしてからもう何年経ったか覚えていませんが、エコドライブ普及連絡会の推奨する“エコドライブ10のすすめ”（※表紙参照）はなかなか説得力があり、内容も簡単に理解できる平易なもので誰もがすぐ実行できます。私も日頃からその実行を心掛けている一人ですが、時には周囲の状況によって意に反する運転をすることもあります。たとえば、遮断機の下りた踏切で渋滞している時は「ふんわりアクセルeスタート」ではなく速やかにスタートすることが渋滞緩和になりCO₂の発生抑制にもなるはずですが。

要はエコドライブを意識しつつ、状況に応じた運転をすることが必要で、何でもかんでもエコドライブではエコにならない時もあるということです。

それから最近特に感じるものの一つに伊豆縦貫道上りの渋滞があります。東名方面に向かう上りの路側帯に「上り坂速度低下注意」という標識がいくつかありますが、上り坂で車の速度が落ちているのにアクセルを踏まないドライバーがおり、後続車両が接近しすぎてブレーキを踏む、その後ろの車も慌ててブレーキを踏む、この連鎖反応で渋滞が慢性化しています。適正な車間距離を保つことは渋滞緩和の大事なテクニックですが、併せて速度低下の防止のため、標識の確認に気を配るのもエコドライブの心得だと思います。



（江古土羅男）

・・・地球にやさしい移動手段・・・

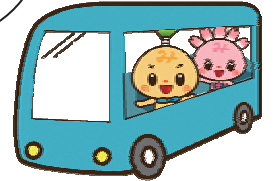
環境には自動車を使う機会を減らすことも大切です。こちらのページでは、自転車やバスといった自動車の代わりになる移動手段のルールや取組みなどを紹介します。

自転車のセーフティーマナー

- 1 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- 2 車道は左側を通行
- 3 歩道は歩行者優先で、自転車は車道寄りを徐行
- 4 安全ルールを守る
- 5 子どもはヘルメットを着用

歩道を走ることができるのは…

- ▶道路標識等で指定された場合
- ▶運転者が13歳未満の子ども、70歳以上の高齢者、身体の不自由な方の場合
- ▶車道または交通の状況からみてやむを得ない場合



市内コミュニティバス

- ・せせらぎ号…中心市街地を循環、運賃100円
- ・なかざと号…中郷地区を循環、運賃100円
- ・きたうえ号…三島駅～北上文化プラザ間運行、運賃200円（小学生は100円）
- ・ふれあい号…市役所～梅名間運行、運賃200円（小学生は100円）

主な取り締まり対象違反 !! 自転車も検挙されます!!

違反名	罰則
右側通行	3月以下の懲役または5万円以下の罰金
信号無視	3月以下の懲役または5万円以下の罰金
一時不停止	3月以下の懲役または5万円以下の罰金
酒酔い運転	5年以下の懲役または100万円以下の罰金

自転車での加害者事故が増加し多額の賠償金を払うケースも増えています。ルールを守り、まさかの事故に備え保険に加入しましょう。

コミュニティバスのお問い合わせは
三島市地域安全課：983-2701

◎近年歩車分離式信号機が増えています。(H27.12.31時点市内7箇所)

⚠ 歩行者用信号機に従う場合には、自転車から降りて渡りましょう。

通勤方法を変えてみませんか？

三島市では、6月5日の「世界環境デー」に合わせて、毎年「三島市エコエコデー」を実施しています。これは、交通混雑の緩和や地球温暖化対策を目的に行うもので、三島市役所を含む市内の事業所が参加して、通勤時のノーマイカー、時差出勤、相乗りなどを積極的に実施するものです。

平成28年度は6月3日(金)に行い、参加人数1,770人、参画事業所数34事業所、通勤自家用車削減台数611台となりました。

参加した事業所の方からは、「良い運動になり街の中の様子に目を向けて小さな発見があり、実施してみてよかった。」といった声や「一斉に実施することで全員の環境に対する意識の向上に繋げることも出来、非常に有意義なものであったと感じました。」といった声も寄せられました。

三島市エコエコデーのお問い合わせは
三島市都市計画課：983-2631

高齢者バス等利用助成券

三島市では4月1日現在三島市に住民登録のある、年度内(3月31日)に70歳以上となる高齢者へ「高齢者バス等利用助成券」(100円分、30枚綴)を交付しています。(年度内に1回限り)

利用可能交通機関は市内を運行するバス及び伊豆箱根鉄道駿豆線です。

100円を超える金額は現金で支払うようになりますが、この券を利用している人たちは、病院や買い物への往復に重宝していると言っており、高齢者に浸透してきているようです。

高齢者バス等利用助成券のお問い合わせは三島市長寿介護課：983-2609

クイズの答え：違反となります。罰則については上記『主な取り締まり対象違反』をご参照ください。

＜錦田地区エコリーダー活動の紹介＞

三島は「ゆたかな自然」や「ゆたかな文化」があり、人と人との「きずな」や「ゆたかな心」が育まれる素晴らしいところです。私たち錦田地区エコリーダーは、地域の環境を良く知ることが愛郷心を育み、地域環境を考える事につながっていくと考えています。一緒に地域の自然を見つめてみませんか？

みなさまに参加いただけるエコリーダー活動は、広報みしまで随時募集していますのでぜひご参加ください。

活動内容

山田川流域の里山学習



山田小学校4年生の総合学習として、里山学習の指導を行っています。

滝川神社や和田義盛の石碑など地域の史跡を巡り、里山に暮らした人々の歴史や地域の生活を豊かにした自然を学ぶことで、ふるさとを大切にすることを大切にする心を持ち、環境について考えることができる環境リーダーとして活躍してくれることを期待します。

水生生物観察会



山田川や夏梅木川で石の裏や水草に住む水生生物を捕まえて、その種類や数を調べ、川の水質判定を行っています。

里山自然観察会



春には山田川自然の里で自然観察会を行い、秋には錦田地区の魅力を伝える歴史ウォーキングを行っています。

歴史ウォーキング



皆さんも地域での環境活動に参加しませんか。お問い合わせは下記、環境政策課へ。

【編集後記】自動車は遠い場所にも速く行けるし、大きい荷物や重い物を運ぶのにもとっても便利です。数え上げればキリがありませんがマイナス面も多くあります。燃料費？そう、車は水では動きませんね、税金や他の維持費もいろいろ掛かります。更に環境汚染や交通事故のリスクという不安要素の数々。最近は環境対策や安全性をより追求した車の開発が大きく進展していますが？運転するのは人間ですよ。自分だけの便利さでなく社会の人々にも配慮できる運転者こそが真のベストドライバーと言えるのではないのでしょうか？(ひ)

編集スタッフ（市民ボランティア） 青木博・飯田喜一
岩田明彦・大村洋子・柴原俊介・鈴木祥子・羽田妙子・堀江紗代

第28号（5月・10月の年2回発行）

平成28年10月15日発行

〒411-0858 静岡県三島市中央町 5-5

三島市役所中央町別館

環境政策課内

「エコライフみしま」編集事務局

TEL:055-983-2647 FAX:055-976-8728

E-mail:kankyoku@city.mishima.shizuoka.jp

エコライフみしまは再生紙を使用して発行しています。
エコライフみしまも再生可能な資源古紙です。